

# 『ルートカッター E757N』 取扱説明書 (ガイドバーサイズ:500mm用)

本製品は根切り用です。  
仕様、付属部品、使用方法が異なります。

注) 一般的な取扱いおよび本書以外の取扱いについては、  
エンジンチェンソー『E757 取扱説明書』を必ずお読みください。

## &lt; 付属部品 &gt;

ドライバ……………1ヶ  
プラグレンチ……………1ヶ  
ゲージ……………1ヶ  
ヘキサレンチ 3mm用…1ヶ  
ヘキサレンチ 4mm用…1ヶ  
ヘキサレンチ 5mm用…1ヶ  
ホール クリーナ……………1ヶ  
ツール バッグ……………1ヶ

## &lt; 仕様(主な消耗品) &gt;

- 1.ソーチェン……………超硬チップチェン 3/8"ピッチ、ゲージ0.063"  
500mm用 HG63A72E-36
- 2.ガイドバー……………ルートカッター専用ガイドバー  
500mm (20")
- 3.スプロケット……………超硬スパー式 3/8"ピッチ、7枚歯

## &lt;取扱い&gt;

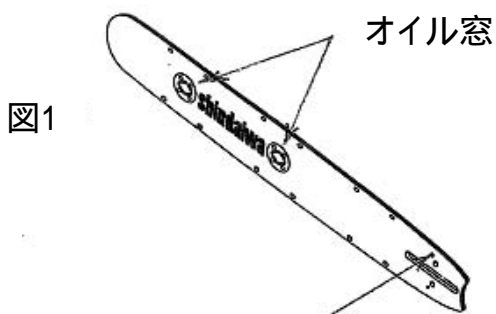
## 1.ガイドバーとソーチェーンの取付

(1) 基本的な取付方法は『E757 取扱説明書』をお読みください。

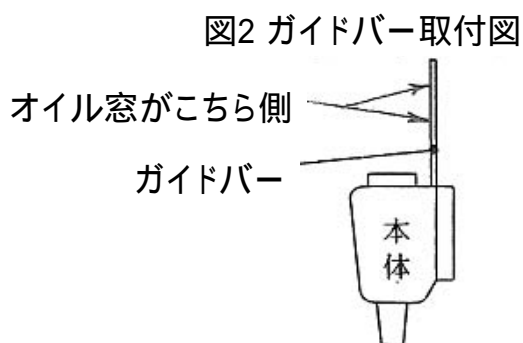
(2) 開梱時にはガイドバーは図のようになっています。

ガイドバーはオイル吐出穴が必ず上側(本体側)になるよう取付けてください。

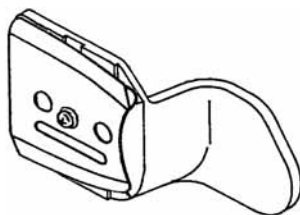
ガイドバーの片側が磨耗したら、反転させて使用することができます。反転させて使用する場合には、必ず、『ガイドバー反転使用方法』をお読みください。



オイル吐出穴(本体取付側)



(3) ルートカッター専用のクラッチガードを取付けてください。

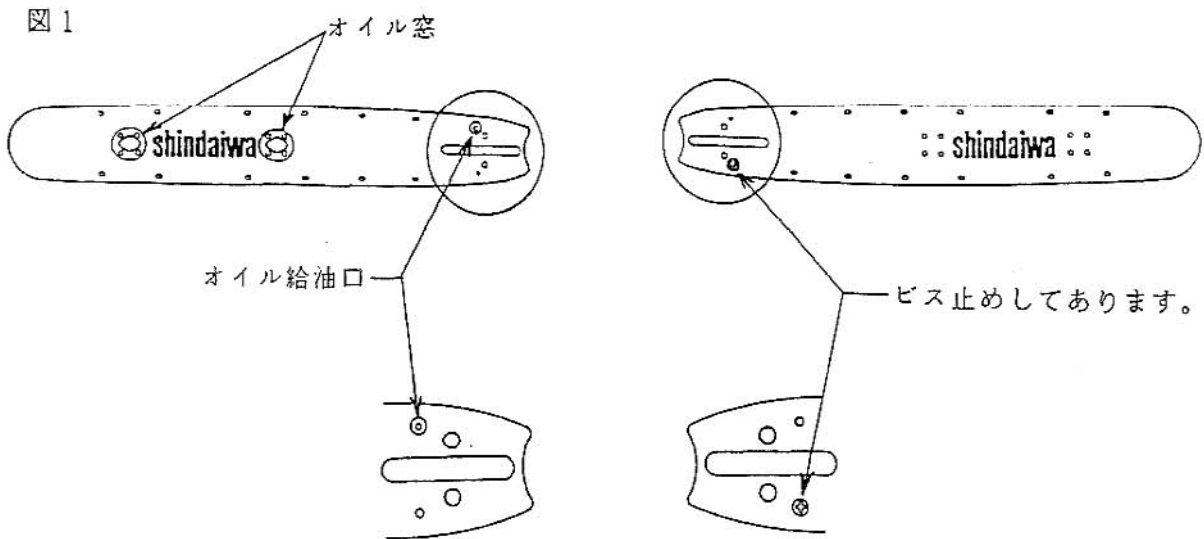


(4) 新品のソーチェーンを使用する場合、使用前に一晩オイルにつけておくか、本体に取付けた状態でソーチェーンにオイルをなじませてからエンジンを始動させてください。

## 2. オイル窓付ガイドバー反転使用方法

ガイドバーを反転させて使用される場合には、必ず下記手順にそって作業を行ってください。

(1) 本体よりガイドバーをはずすと図1のようになっています。



(2) ビスをはずし、反対側のオイル給油口をビス止めします。(図2)

また、ビスの頭がガイドバーより出ていないことを確認してください。(図3)

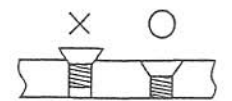
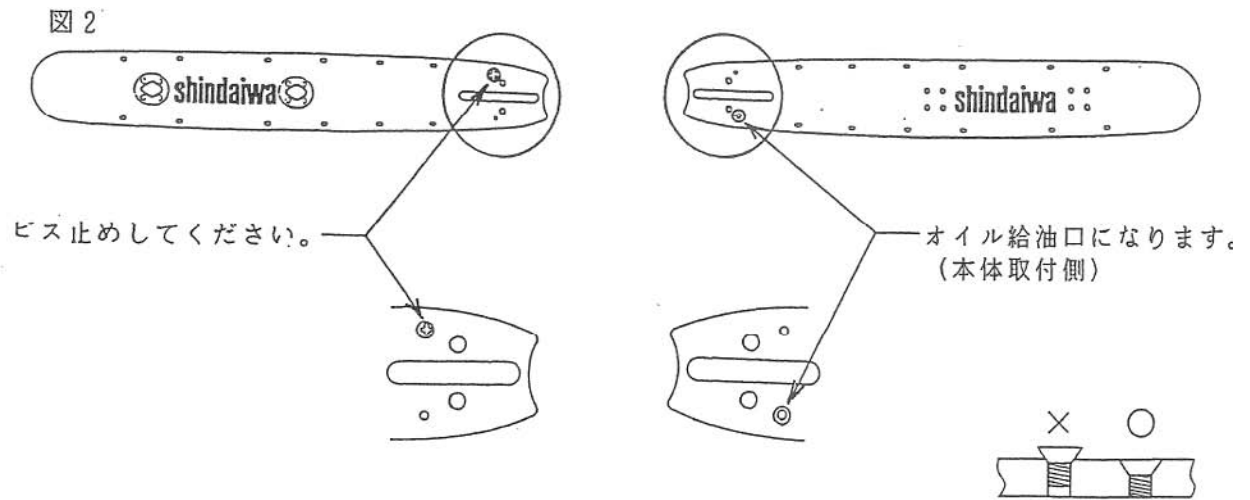


図3. ビス止め図

(3) ガイドバーを本体に取付けます。

この時、オイル給油口が必ず上側(本体側)になることを確認してください。(図4)

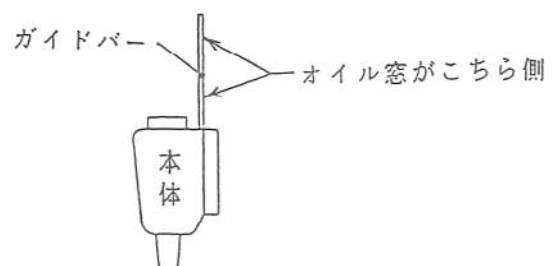
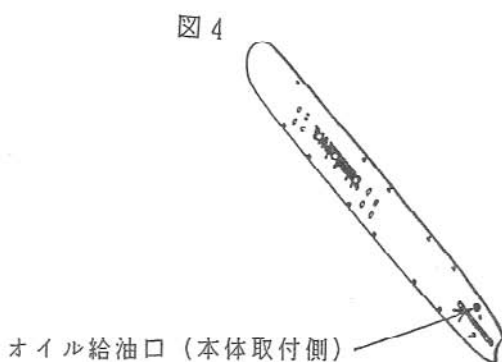


図5. ガイドバー取付図

### 3.燃料

- (1) 新品時20時間までは20:1(ガソリン:2サイクル専用オイル)の割合で混合したものを必ず使用してください。
- (2) 20時間経過後は25:1のものを使用してください。

### 4.チェーンオイル

- (1) チェンオイルは土壌保護のため植物性オイルのご使用をおすすめします。
- (2) 根切作業を行う場合、中間回転速度で空運転しガイドバーのオイル窓にオイルが行渡るのを確認してからご使用ください。
- (3) ガイドバー、ソーチェーンの異常摩耗、焼付を防ぐため常にオイルが出ていることを確認して作業を行ってください。  
オイルがなくなったら直ぐにオイルを補給してください。
- (4) チェンオイルをご希望の方は当社にて準備しておりますので申しつけてください。

### 5.安全ガード

ガード機構は装備していますが、キックバックには十分注意してください。

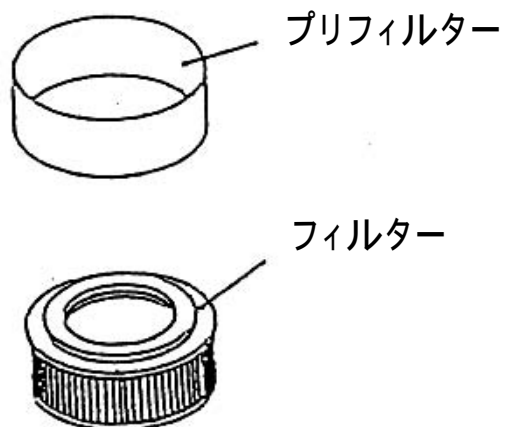
## < 保守, 点検 >

### 1. エアクリーナの点検

- (1) 乾式ダブルフィルターを採用しています。
- (2) 外側のプリフィルターは作業終了後、清掃してください。
- (3) 内側のフィルターは表面が汚れてきたら、適時清掃してください。

プリフィルター, フィルターは、  
コンプレッサーで内側から外側  
へ向けてエアーを吹きつけて、  
ゴミやほこりを吹き飛ばしてく  
ださい。

コンプレッサーがない場合には、  
プリフィルター, フィルターを軽く  
たたいてほこりを落してください。



### 2. クラッチドラムの点検

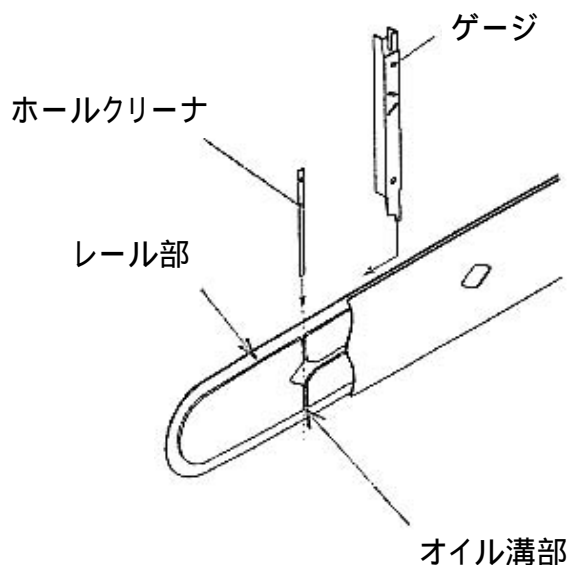
クラッチガードをはずしてクラッチドラムのスプロケット部を調べ、  
摩耗していたら新しいものと取替えてください。  
摩耗したまま使用するとソーチェーンが外れやすくなります。

### 3.清掃について

安全に能率良く作業できるように付着した泥はこまめに清掃してください。

#### ガイドバーの清掃方法

下図のように付属工具のゲージを使用してガイドバーのレール部を清掃します。  
また、オイルの吐出状態が悪くなった場合、ホールクリーナを使用してオイル溝部を清掃します。



#### < エンジン回転速度 >

出荷時にはエンジン回転速度を $12000\text{min}^{-1}$ にセットしています。

エンジン回転速度の再調整が必要となった場合には、 $12000\text{min}^{-1}$ になるようにセットしてください。

(Hニードル 開度目安 1~1.1/8)

注) エンジン回転速度が $12000\text{min}^{-1}$ を超えますとガイドバー、ソーチェンの磨耗を早めます。

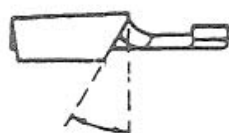
#### 4.ソーチェンの目立て工具について(別売)

下記のいずれかの方法により、目立てを行ってください。

- ・オレゴン製ベンチグラインダ、ダイヤモンドホイール(根切りチェーン目立て専用)
- ・ダイヤモンド丸やすり( 5.5)

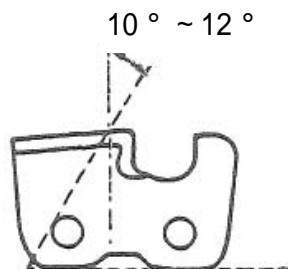
#### 5.目立てのしかた

##### (1)目立て角度



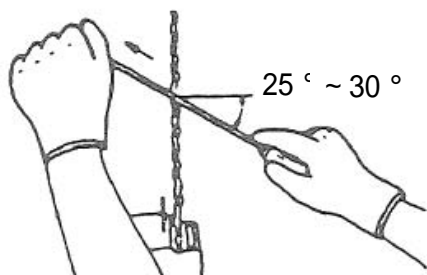
25 ~ 30°

上刃目立角度

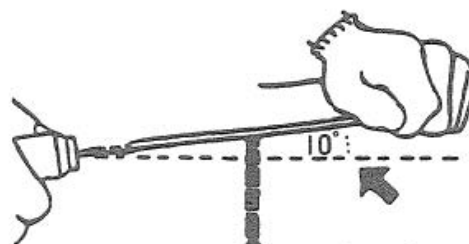


10° ~ 12°

上刃切削角度



25° ~ 30°



10°

ヤスリは手前に10°下げて

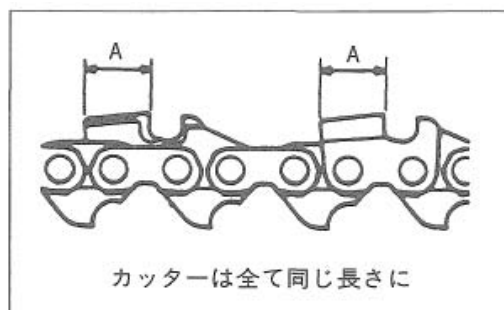
##### (2)目立ての手順

必ず、カッターの内側から外側に向かって、丸やすりでヤスリがけしてください。(丸やすりの場合)

カッターは、必ず自分から見て反対側のカッターを全部とぎ、次にチェーンの向きを変え、反対側のカッターをといってください。

カッターは、Aの寸法を全て同じ長さにそろえてください。

トッププレート、及びサイドプレートに傷がある場合は傷がなくなるまで目立てを行ってください。



カッターは全て同じ長さに

ベンチグラインダ、ダイヤモンドホイールを使用する場合は、ベンチグラインダの取扱説明書をご覧ください。